



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

環境調査結果とりまとめ業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

[illegible]

九州農政局

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:環境調査結果とりまとめ業務

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設保全対策指導事業					
業務名	環境調査結果とりまとめ業務					
業務別業務名:環境調査結果とりまとめ業務						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 1号 ***					
S02115	主任技師					
	主任技師		人	64,800		歩A・単A
	*** S単ー 2号 ***					
S02115	技師 (A)					
	技師 (A)		人	57,000		歩A・単A
	*** S単ー 3号 ***					
S02115	技師 (B)					
	技師 (B)		人	47,200		歩A・単A
	*** S単ー 4号 ***					
S02115	技師 (C)					
	技師 (C)		人	38,400		歩A・単A
	*** S単ー 5号 ***					
S02115	技術員					
	技術員		人	33,600		歩A・単A
	*** S単ー 6号 ***					
S02116	専門家ヒアリング(交通費)					
	専門家ヒアリング(交通費) 福岡市～佐賀市,,		往復	2,583		歩A・単A
	*** S単ー 7号 ***					
S02116	情報共有システム計上費用					
	情報共有システム計上費用 月額利用料(12ユーザ,5GB),,		月	11,100		歩A・単A
	*** S単ー 8号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)					
	設計労務(直接人件費外業)		式	26,790		歩A・単A
	*** S単ー 9号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	121,800		歩A・単A
	*** S単ー 10号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	104,200		歩A・単A
	*** S単ー 11号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)					
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,4時間,100km≤ L (100km以上)		回	10,781		歩A・単A
	*** S単ー 12号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)					
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,4時間,100km≤ L (100km 以上)		回	10,781		歩A・単A
	*** S単ー 13号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成					
	電子納品版業務報告書作成 3,Aー4,1000,10cm,0		式	40,152		歩A・単A
	*** T単ー 1号 ***					
T00001	計画準備					
			業務	385,200		歩A・単A
	*** T単ー 2号 ***					
T00002	令和5年度環境モニタリング調査結果の整理・考察					
			業務	1,539,400		歩A・単A
	*** T単ー 3号 ***					
T00003	既存「環境モニタリング結果のまとめ」の更新					
			業務	1,854,400		歩A・単A
	*** T単ー 4号 ***					
T00004	令和6年度環境モニタリング調査結果の整理・考察					
			業務	3,460,000		歩A・単A
	*** T単ー 5号 ***					
T00005	調整池水質対策関連調査結果の整理					
			業務	886,400		歩A・単A
	*** T単ー 6号 ***					
T00006	専門家ヒアリング(議事録作成)					
			業務	85,500		歩A・単A
	*** T単ー 7号 ***					
T00007	報告書作成					
			業務	878,800		歩A・単A

[illegible]

事業名	国営造成水利施設保全対策指導事業
業務名	環境調査結果とりまとめ業務

業務別業務名: 環境調査結果とりまとめ業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S02115	主任技師		人		1,000	歩A 当たり算出
	主任技師			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04003 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04003	主任技師	1,000	人	64,800	64,800	
	合 計				64,800	算出数量 1,000 人
	単 価				64,800	
	*** S単一 2号 ***					
S02115	技師 (A)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04004	技師 (A)	1,000	人	57,000	57,000	
	合 計				57,000	算出数量 1,000 人
	単 価				57,000	
	*** S単一 3号 ***					
S02115	技師 (B)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04005 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04005	技師 (B)	1,000	人	47,200	47,200	
	合 計				47,200	算出数量 1,000 人
	単 価				47,200	
	*** S単一 4号 ***					
S02115	技師 (C)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (C)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04006 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04006	技師 (C)	1,000	人	38,400	38,400	
	合 計				38,400	算出数量 1,000 人
	単 価				38,400	
	*** S単一 5号 ***					
S02115	技術員		人		1,000	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04007 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04007	技術員	1,000	人	33,600	33,600	
	合 計				33,600	算出数量 1,000 人

事業名	国営造成水利施設保全対策指導事業
業務名	環境調査結果とりまとめ業務

業務別業務名:環境調査結果とりまとめ業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価				33,600	
	*** S単- 6号 ***					
S02116	専門家ヒアリング(交通費)		往復		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	専門家ヒアリング(交通費) 福岡市～佐賀市,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)地域資材単価コード (P)	P96001		深夜時間:0.0		
	3)地区資材単価コード (J)					
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P96001	専門家ヒアリング(交通費) 福岡市～佐賀市	1,000	往復	2,583	2,583	
	合 計				2,583	算出数量 1,000 各単位
	単 価				2,583	
	*** S単- 7号 ***					
S02116	情報共有システム計上費用		月		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	情報共有システム計上費用 月額利用料(12ユーザ,5GB),,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)地域資材単価コード (P)	P96801		深夜時間:0.0		
	3)地区資材単価コード (J)					
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P96801	情報共有システム計上費用 月額利用料(12ユーザ,5GB)	1,000	月	11,100	11,100	
	合 計				11,100	算出数量 1,000 各単位
	単 価				11,100	
	*** S単- 8号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	0.47人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	0.470	人	57,000	26,790	
	合 計				26,790	算出数量 1,000 式
	単 価		式		26,790	
	*** S単- 9号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.500日				
R04003	主任技師	1,000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)	1,000	人	57,000	57,000	
	合 計				121,800	算出数量 1,000 回
	単 価		回		121,800	

事業名	国営造成水利施設保全対策指導事業
業務名	環境調査結果とりまとめ業務

業務別業務名:環境調査結果とりまとめ業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 10号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.5日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 設計工種	一般工種		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 打合せ	中間		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間: 0.0		
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	1.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.500日				
R04004	技師 (A)					
		1,000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)					
		1,000	人	47,200	47,200	
	合 計				104,200	算出数量 1,000 回
	単 価		回		104,200	
	*** S単ー 11号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種, 着手前・最終, 通勤により打合せ,,, ライトバン, 1日, 4時間, 100km ≤ L (100km以上)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種		深夜時間: 0.0		
	2) 打合せ内容	着手前・最終				
	3) 主任技師配置人員	1人				
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	0人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.00日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	12) 交通機関区分	ライトバン				
	13) 高速道路往復料金 (税別)	7,110円				
	14) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	15) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18) ライトバン使用日数	1日				
	19) 時間区分	4時間				
	20) 往復移動距離区分	100km ≤ L (100km以上)				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き		式	7,110	7,110	
M28121	ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L		日	1,900	1,900	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド		L	164	1,771	
	合 計				10,781	算出数量 1,000 回
	単 価		回		10,781	
	*** S単ー 12号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種, 中間, 通勤により打合せ,,, ライトバン, 1日, 4時間, 100km ≤ L (100km以上)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種		深夜時間: 0.0		
	2) 打合せ内容	中間				
	3) 主任技師配置人員	0人				
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	1人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.00日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	12) 交通機関区分	ライトバン				
	13) 高速道路往復料金 (税別)	7,110円				
	14) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	15) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設保全対策指導事業
業務名	環境調査結果とりまとめ業務

業務別業務名:環境調査結果とりまとめ業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T単一 1号 ***					
T00001	計画準備		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
S02115	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	S単 1号
S02115	技師 (A)	2.000	人	57,000	114,000	S単 2号
S02115	技師 (B)	3.000	人	47,200	141,600	S単 3号
	合 計				385,200	算出数量 1.000 業務
	単 価		業務		385,200	
	*** T単一 2号 ***					
T00002	令和5年度環境モニタリング調査結果の整理・考察		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
S02115	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	S単 1号
S02115	技師 (A)	5.000	人	57,000	285,000	S単 2号
S02115	技師 (B)	10.000	人	47,200	472,000	S単 3号
S02115	技師 (C)	10.000	人	38,400	384,000	S単 4号
S02115	技術員	8.000	人	33,600	268,800	S単 5号
	合 計				1,539,400	算出数量 1.000 業務
	単 価		業務		1,539,400	
	*** T単一 3号 ***					
T00003	既存「環境モニタリング結果のまとめ」の更新		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
S02115	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	S単 1号
S02115	技師 (A)	8.000	人	57,000	456,000	S単 2号
S02115	技師 (B)	10.000	人	47,200	472,000	S単 3号
S02115	技師 (C)	12.000	人	38,400	460,800	S単 4号
S02115	技術員	10.000	人	33,600	336,000	S単 5号
	合 計				1,854,400	算出数量 1.000 業務
	単 価		業務		1,854,400	
	*** T単一 4号 ***					
T00004	令和6年度環境モニタリング調査結果の整理・考察		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
S02115	主任技師	10.000	人	64,800	648,000	S単 1号
S02115	技師 (A)	12.000	人	57,000	684,000	S単 2号
S02115	技師 (B)	16.000	人	47,200	755,200	S単 3号
S02115	技師 (C)	20.000	人	38,400	768,000	S単 4号
S02115	技術員	18.000	人	33,600	604,800	S単 5号
	合 計				3,460,000	算出数量 1.000 業務
	単 価		業務		3,460,000	
	*** T単一 5号 ***					

[illegible]

令和6年度
環境調査結果とりまとめ業務

特 別 仕 様 書

農林水産省 九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第1-1条

令和6年度 環境調査結果とりまとめ業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「設計業務共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第1-2条

本業務は、諫早湾干拓地域及びその周辺地域の環境調査結果のとりまとめを行うものである。

(場 所)

第1-3条

本業務の対象地域は、諫早市、雲仙市、諫早湾干拓調整池及び諫早湾とする。

(業務概要)

第1-4条

本業務の概要は、次のとおりである。

- | | |
|-------------------|-----|
| 1 環境モニタリング等調査結果整理 | 1 式 |
| 2 専門家へのヒアリング | 1 式 |

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-5条

本業務の受注にあたり、予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格(以下、「調査基準価格」という。)を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評価に厳格に反映させるものとする。

1. 審査事項a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合。
2. 審査事項d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合。
3. その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合。
4. 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第1-6条

業務請負契約書及び設計業務共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

1. 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めた場合は、速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第 1－7 条

1. 管理技術者は、設計業務共通仕様書第 1－6 条第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理部門	農業－農業土木、農業－農業農村工学、農業－農村環境、建設－建設環境、水産－水産資源及び水域環境、水産－水産水域環境、環境－環境保全計画、環境－環境測定、環境－自然環境保全、環境－環境影響評価
	建設部門	建設環境
	農業部門	農業土木、農業農村工学、農村環境
	水産部門	水産資源及び水域環境、水産水域環境
	環境部門	環境保全計画、環境測定、自然環境保全、環境影響評価
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木部門	
	建設環境部門	
	水産土木部門	

(担当技術者)

第 1－8 条

担当技術者は、設計業務共通仕様書第 1－8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第 1－9 条

設計業務共通仕様書第 1－11 条における業務組織計画の作成及び設計業務共通仕様書第 1－12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

1. 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。
なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
2. 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第 1－10 条

受注者は、設計業務共通仕様書第 1－37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第 2 章 作業条件

(貸与資料)

第 2－1 条

貸与資料は、次のとおりである。

分 類	貸 与 資 料	数 量
報告書	令和4年度 環境調査結果とりまとめ業務 報告書 ・・・令和4年4月～令和5年2月調査結果の整理・考察資料	1 式
報告書	令和5年度 諫早湾海域水質調査その他業務 報告書 ・・・令和5年度 水質関連データ資料	1 式
報告書	令和5年度 調整池流入河川等水質調査業務 報告書 ・・・令和5年度 水質関連データ資料	1 式
報告書	令和5年度 調整池周辺鳥類調査その他業務 報告書 ・・・令和5年度 野鳥関連データ資料	1 式
報告書	令和5年度 諫早湾水質自動観測データ管理業務 報告書 ・・・令和4年度 気象・水質関連データ資料	1 式
報告書	令和5年度 環境調査結果とりまとめ業務 報告書 ・・・令和5年4月～令和6年2月調査結果の整理・考察資料	1 式
その他	諫早湾干拓事業 環境モニタリング結果のまとめ ・・・既存「環境モニタリング結果のまとめ」資料	1 式

(貸与資料の取扱い)

第2-2条

第2-1条に示す貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

1. 貸与資料は、原則として複写転載を禁ずるとともに、その取扱いは十分注意し、他に使用や公表又は貸与してはならない。
2. 貸与資料の記載事項に、相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
3. 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか、完了検査時に一括返納しなければならない。

(関連業務)

第2-3条

本業務と関連する業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた調査成果としなければならない。

番号	業 務 名	実施予定期間
1	令和6年度 諫早湾海域水質調査その他業務（仮称）	R6年4月～R7年3月
2	令和6年度 調整池流入河川等水質調査業務（仮称）	R6年4月～R7年3月
3	令和6年度 調整池周辺鳥類調査業務（仮称）	R6年4月～R7年3月
4	令和6年度 諫早湾水質自動観測データ管理業務（仮称）	R6年4月～R7年3月

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりとする。

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 計画準備	1 業務	
2. 環境モニタリング等調査結果整理		
2-1. 令和5年度環境モニタリング調査結果の整理・考察	1 業務	
2-2. 既存「環境モニタリング結果のまとめ」の更新	1 業務	

2-3. 令和6年度環境モニタリング調査結果の整理・考察	1 業務	
2-4. 調整池水質対策関連調査結果の整理	1 業務	
3. 専門家へのヒアリング (1 回)	1 業務	
4. 報告書作成	1 業務	

(作業内容)

第3-2条

本業務における作業内容については、次のとおりとする。

1. 計画準備

貸与資料及びとりまとめに必要な資料を収集・整理する。

また、本業務の目的・主旨を把握したうえで、作業計画を樹立する。

2. 環境モニタリング等調査結果整理

(1) 令和5年度環境モニタリング調査結果の整理・考察

貸与資料に示す令和5年度 環境調査結果とりまとめ業務の「環境モニタリング調査結果の整理・考察（令和5年4月～令和6年2月まで）」に監督職員から提供する令和6年3月の結果を追加し、平成19年度（事業完了）以降の変動範囲と比較した資料及び平成9年度（諫早湾締切）～令和5年度の年平均値等の経年変化について図化・整理し、それぞれについて考察する。

(2) 既存「環境モニタリング結果のまとめ」の更新

既存（貸与資料）の「環境モニタリング結果のまとめ」（平成元年～令和5年3月まで調査結果を図化・整理済）をベースとし、令和5年4月～令和6年3月の環境調査による気象、水質、底質、水生生物、陸生生物、野鳥の各データを追加し、調査結果を図化・整理するとともに、それぞれについて考察する。

また、専門的な立場から助言・指導を得ることを目的とした専門家ヒアリングを予定しており分野毎に説明資料の作成を行う。

(3) 令和6年度環境モニタリング調査結果の整理・考察

令和6年4月～令和7年2月までの環境モニタリング調査結果を平成19年度（事業完了）以降の変動範囲と比較した資料について図化・整理し、特異な傾向を示した場合には、気象状況などの関連性を考慮したうえで、その要因を考察する。

(4) 調整池水質対策関連調査結果の整理

令和6年3月～令和7年2月までの水質関連データ（気象、流入河川）を平成9年度（諫早湾締切）以降の関連項目を含め時系列に整理し、その動向・変化傾向を経年的に取りまとめる。

3. 専門家へのヒアリング

(1) 専門家ヒアリングに出席し、議事録を作成する。

ヒアリングは1回を見込むものとし、「技師A」1名日帰りを想定している。

なお、ヒアリングは下表を想定しているが、ヒアリング場所、回数及び時間に変更が生じた場合は、契約変更の対象とする。

【専門家ヒアリング】

ヒアリング			備考
場所	回数	時間	
佐賀市	1	2	

4. 報告書作成

成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。

(作業の留意点)

第3－3条

本業務の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

1. 設計業務共通仕様書第1－11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないこととする。
2. 現地調査結果等の整理・とりまとめを行うにあたっては、関連業務の管理技術者が随時集約するデータを使用するものとする。
データの受け渡し方法及び形式等については、監督職員と事前に確認を行い決定するものとする。

第4章 業務管理

(情報共有システム)

第4－1条

本業務における業務管理については、次のとおりとする。

1. 本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
2. 情報共有システムは、「工事及び業務の情報共有システム活用要領」（農林水産省 Web サイト参照）によるものとする。
3. 受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

第5章 打合せ

(打合せ)

第5－1条

設計業務共通仕様書第1－10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには、管理技術者が出席するものとする。

初 回	作業着手前の段階
第2回	専門家説明資料作成段階（既存資料の更新段階）
第3回	調査結果とりまとめ段階
最終回	報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度その内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式からWeb方式に変更する場合がある。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、設計業務共通仕様書第1－11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第6章 成果物

(成果物)

第6-1条

成果物を設計業務共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体（CD-R若しくはDVD-R） 正副2部
2. 成果物の出力 1部（3分冊）（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(開示用成果物の作成及び提出)

第6-2条

第6-1条に記載している成果物（PDF ファイル）に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

1. 開示用成果物の電子媒体（CD-R若しくはDVD-R） 1部

(成果物の提出先)

第6-3条

成果物の提出先は、次のとおりである。

長崎県諫早市高来町金崎字浜ノ道149-6

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 環境調整課

第7章 契約変更

(契約変更)

第7-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

1. 第3章に示す「作業内容」に変更が生じた場合
2. 第5章に示す「打合せ」に変更が生じた場合
3. 第6章に示す「成果物」に変更が生じた場合
4. 履行期間の変更が生じた場合
5. 関係者協議等対外的協議により業務計画等に変更が生じた場合
6. その他

第8章 定めなき事項

(定めなき事項)

第8-1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。